



TITLE:

亀田治氏:略歴

AUTHOR(S):

CITATION:

亀田治氏: 略歴. CIAS discussion paper No.29: <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ
I> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 5-5

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228557>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

【亀田治氏：略歴】

1924 年 大正 13 東京都生まれ
1941 年 昭和 16 成城高等学校尋常科修了
1943 年 昭和 18 成城高等学校卒業，東北大学工学部通信工学科入学
1946 年 昭和 21 東北大学工学部通信工学科卒業，通信省電気試験所入所仙台駐在
1948 年 昭和 23 電気試験所辻堂分室（神奈川県藤沢市）に異動
1949 年 昭和 24 逓信省が二分して電気通信省設置
1952 年 昭和 27 日本電信電話公社発足，武蔵野電気通信研究所勤務
1961 年 昭和 36 電電公社退職
，国際電信電話株式会社（KDD）入社，海底線建設部調査役
1962 年 昭和 37 東北大学より工学博士号授与
1963 年 昭和 38 KDD 二宮海底線建設工事事務所所長
1964 年 昭和 39 KDD 二宮海底線中継所長，副参事
1965 年 昭和 40 KDD 研究所有線伝送研究室長
1968 年 昭和 43 KDD 研究所有線システム研究室長
1971 年 昭和 46 KDD 研究所次長，参事
1974 年 昭和 49 KDD 本社海底線建設本部技術部長
1977 年 昭和 52 日本アジア海底ケーブル㈱取締役兼任
，KDD 本社海底線建設本部海底線部長
1978 年 昭和 53 理事に任命
1983 年 昭和 58 KDD 本社海底線技術部審議役
1984 年 昭和 59 KDD 退職，日本アジア海底ケーブル㈱取締役退職，富士通顧問就任
2012 年 平成 24 死去

【略語一覧】

「亀田メモランダム」は，個人的な記録のため，さまざまな略語が使われている。参考のために，下記にその主要なものをあげておく。

Al ケーブル アルミケーブル	C&W または CW ケーブル&ワイヤレス(英国)
ANZCAN Australia-New Zealand-Canada Cable	CBC Contract Bridge Club
ATT The American Telephone&Telegraph Co.	CCITT Comite Consultatif International
BPO 英国郵便公社	Telegraphique et Telephonique
BTL British Telecommunications Laboratories	CGRA 交通部国際電台(台湾)
Backhaul Mux	CNET 国立電信電話研究センター(フランス)
Br. ブリッジ(カードゲーム)	COMSAT Communications Satellite Co.